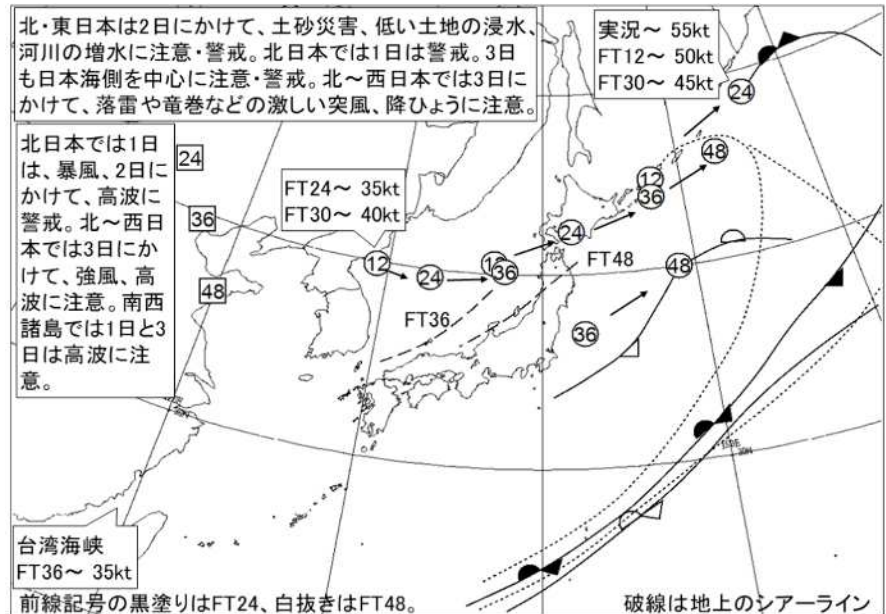


短期予報解説資料 2025年11月1日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5460～5640mのトラフが深まり、北日本を北東進する低気圧の中心気圧は1日09時までの12時間に24hPa低下し、急速に発達中。北日本では暴風や大しけとなっており、えりも岬では9時過ぎに観測史上1位となる最大瞬間風速49.1m/sを観測。全国的にも風が強く波の高い所がある。北海道地方で雷を検知。
- ② 500hPa 5580m付近で-21℃以下の寒気を伴ったトラフが日本海を東進。日本海には下層850hPa θ e309K以上の暖湿気が滞留しており、活発な雷を検知。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は1日夜にかけて、発達しながら千島近海へ進み、日本から遠ざかる。また、これまでの大雨で地盤の緩んでいる所や河川の水位が高くなっている所がある。北～東日本では2日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。北日本では1日は警戒。また、低気圧の発達に伴い広い範囲で風が強まり、非常に強い風が吹く所があり、波が高くなり、大しけとなる所がある。北日本では1日は暴風、2日にかけて高波に警戒。西～北日本では2日にかけて、強風、高波に注意。南西諸島では1日は、高波に注意。
- ② 1日夜までに、500hPa 5460m付近のトラフに対応して日本海中部に小低気圧が発生して東北東進。2日にかけて北日本を通過し、1項②の上層寒気が西～北日本の日本海側中心にかかる。また、1日夜には500hPa 5400m付近のトラフに対応して日本海西部に低気圧が発生し、3日にかけて北日本へ進んで不明瞭化。地上のシアラインが東～北日本へ進む。さらに3日は、500hPa 5520m付近で平年より5～10℃低い-27℃以下の寒気を伴うシャープなトラフが本州付近を通過する。これらの影響で西～北日本では2日から3日にかけて、大気の状態が非常に不安定となる所がある。3日にかけて落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。北陸地方では、雷を伴う激しい雨が断続し、大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。3日にかけて北日本へ進む低気圧の後ろ側では、一時的に西高東低の気圧配置となり風が強まる。北～西日本の広い範囲で荒れた天気となり、強風、高波に注意。北陸地方は注意・警戒。南西諸島では高波に注意。短い周期で低気圧が通過する事や、上空の寒気が強いことから、西～北日本の日本海側や山地を中心に天気が急変する可能性がある事に留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ### 4. 防災関連事項 [量的予報等]
- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
 - ② 波浪(明日まで)：北海道7、東北6、関東・伊豆諸島4、その他東日本～南西諸島で3m。
 - ③ 高潮(明日まで)：東・西日本で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「暴風と高波及び大雨に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警戒報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。